

監督・競技者に対する注意事項

本大会は、2016年日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走規準及び本大会規定による。

1 出場選手について

- (1) 正式オーダーは監督会議受付時に提出すること
- (2) オーダー提出後の選手変更は、補欠をその区間の交代として補充すること。その際必ず医師の診断書を添えた選手変更届を大会当日の男女とも午前7時10分～7時30分の間に大会総務（浄瑠璃シアター内競技本部）に提出すること。なお、大会当日に医務員の診察を受けてもよい。医務員は浄瑠璃シアター内競技本部に7時より常駐している。

2 競技について

- (1) 選手はいかなる場合でも道路の中央線より左側を走らねばならない。右折交差点では、誘導ライン（カラーコーン）より右に出てはならない。また、中継所において、たすきを渡し終えた選手は速やかに左側コース外に出ること。
- (2) タスキは肩から斜め脇下へかけて走るものとし、肩にかけていないものは失格とする。
- (3) 中継所でのたすきの受け渡しは中継線から進行方向20mの間に手渡しで行わなければならない、中継線の手前からたすきを投げ渡したりしてはならない。
- (4) たすきを受け取る者は、前走者の区域（中継線の手前の走路）に入ってはならない。また、たすきを渡した走者は直ちにコース外に出なければならない。
- (5) ナンバーカードは4枚配布する。2枚はレース時のユニフォームの胸と背に付けること。残りの2枚は、オーバーコートの胸とバッグに付けること。
- (6) 車両及び人による伴走、飲食物の供給、その他の助力を行うことはできない。これに類する行為があった場合は失格の対象となる。
- (7) 第1区走者の出発について
 - ア 出発時のコース順は、監督会議受付時に抽選で決める。走る方向に向かって左から右へ番号順に1列目1～14、2列目15～27、3列目28～40とし3列に並ぶ。
 - イ 出発の要領は次のとおりとする。
 - i) 10分前、5分前、3分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前がそれぞれアナウンスされる。
 - ii) 第1区走者は5分前に集合し、3分前に競技服装になる。そして「30秒前」のアナウンスでスタートライン3m後方に移動する。「10秒前」のアナウンスで、スタートラインに並ぶ。
 - iii) 「10秒前」のアナウンスに続いてスターターが「On your marks」とコールする。この時静止し、その後のピストルの合図でスタートする。
- (8) レース中に走者が途中で競技を続行できなくなったとき、または、競技を中止させられた場合は当該チームはその区間は無効とし、オープン参加として扱い、総合記録は認められないが他の区間記録は認める。この場合の次の区間の走者を出発させる時間は最終順位の走者から30秒以内とする。
- (9) 各区間とも中間点、アト1km地点の表示を出す。
- (10) 先頭走者と最後尾走者の距離が大きく開いた場合は繰り上げスタートを行う。（先頭通過後、女子第2中継・第4中継所で10分、男子第3中継所で10分、男子第6中継所で15分）
- (11) レース中に生じた事故については応急手当のみ大会本部で行う。

3 選手の招集時刻、場所、輸送について

- (1) 選手は役場前バス駐車場第1次点呼を行う。その後、各中継所へバスで配置する。第1次点呼に応じない場合は失格とする。その際ユニフォームにナンバーカードが付いた状態で点呼を受けること。最終点呼は現地（各中継所）で行う。ただし、男子第1区・第3区走者、女子第1区・第4区走者は第1次点呼はないので直接スタート地点・中継所に行き招集を受けること。
- (2) 選手は中継所役員の指示により安全に留意しウォーミングアップを行うこと。走り終わった選手は必ず収容バスに乗り、帰着すること。ただし男子第2区走者・女子第3区走者は徒歩で帰着すること。
- (3) 選手の荷物は輸送しないので、次走者のものを着用する等、各チームで準備すること。貴重品の管理は各チームで行うこと。
- (4) 大会当日の輸送計画、最終点呼、中継予定時刻は別表輸送計画の通りである。
- (5) 付き添いについては各区間1名に限り、選手と同時出発のバスにて中継所まで輸送する。

4 その他

- (1) 記録については閉会式終了後、各校に1部配布する。
- (2) 選手及び応援者等は沿道・中継所付近の民家等に迷惑のかからないよう注意すること。